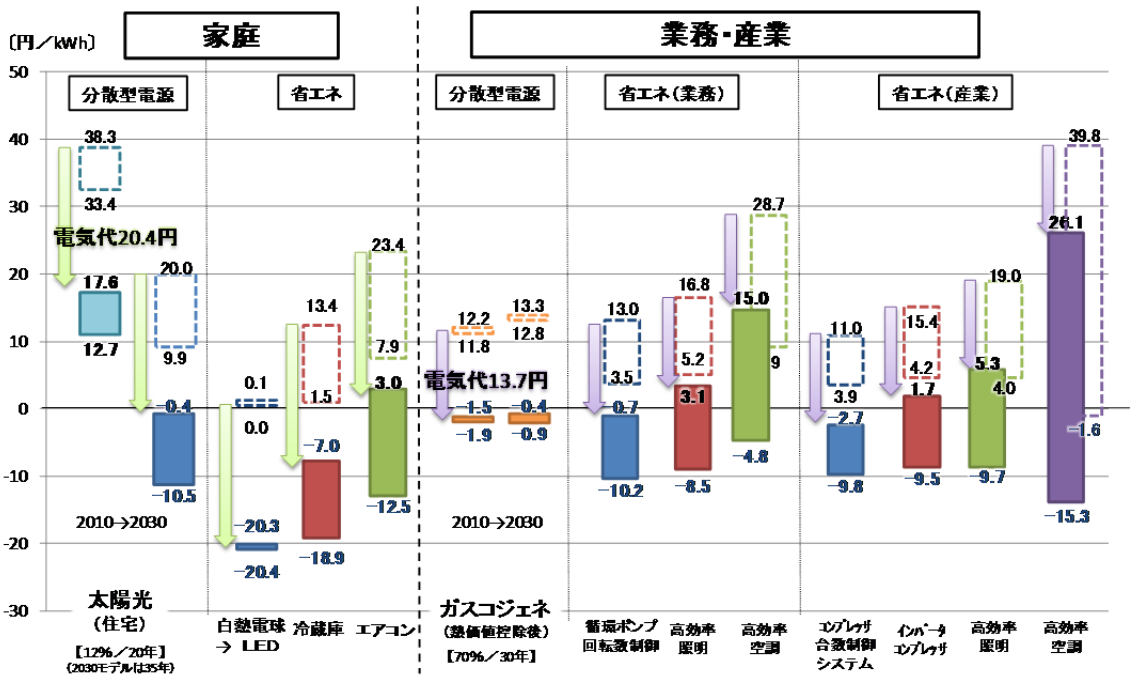
（11）需要家が参画する電源と省エネの需要家から見た試算

○前述したように省エネ投資については、需要家から見た場合、電気料金を節約できるというメリットが生じる。電気料金を投資コストから差し引いてその値がマイナスの場合には投資に経済合理性があると言え、多くの場合はこれを満たすことが下図から分かる。

○また、太陽光発電、コジェネといった分散型電源についても、需要家による発電であるため、同様に電気料金を差し引いて需要家から見た場合のコストを計算すると、概ね需要家による導入は経済的に合理的であることが分かる。



※本章３（10）の（C）の方式で計算：電気料金は平成 22 年度一般電気事業者の電気料金実績を利用、家庭用料金：20.4 円/kWh、業務・産業用料金：13.7 円/kWh）

※ガスコジェネの発電コストは、需要家から見たコストを比較するため、燃料費に CIF 価格ではなく都市ガス料金を用いた試算値。

（図　１）需要家のメリットを踏まえた分散型電源・省エネのコスト